

呼吸器外科 | 安川 元章



令和6年1月より呼吸器外科に勤務しています。卒後は主に奈良県立医科大学で肺癌に対する内視鏡手術を1500例以上経験し研鑽を積んできました。辛い時もありましたが、患者様の叱咤激励や感謝のお言葉に支えられ頑張っ参りました。最近ではより低侵襲な手術を目指し、単孔式手術という約4cmの傷の1カ所のみで胸腔鏡手術を行っております。

さて、近年、肺癌治療は外科療法他に化学療法、放射線治療、さらに免疫療法を組み合わせて治療戦略をたてるようになってきました。治療の選択肢が増えたことは喜ばしいことです。一方、選択肢が増えたことで、患者様の全身状態の適切な評価や、患者様やご家族様への説明がさらに重要となっています。多様性の社会と言われ様々な価値観がありますが、現実の病気とともに患者様の考えや気持ちにも向きあい、当院で診療を受けてよかったと患者様に思っただけのよう頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。